

横浜市民の健康寿命の延伸と 多様性尊重社会の実現に向けて



日本生命

～包括連携協定の締結～

令和4年9月30日
市長定例記者会見
説明資料

包括連携協定とは

「包括連携協定」は、企業等と横浜市が相互の連携を強化し、特定の事業に留まらない広範囲の分野において、様々な事業を行うことを通じ、地域の活性化や市民サービスの向上を目指すパートナーシップです。

◎ 互いの資源の有効活用 ◎ 継続的な連携の強化



包括連携協定における共通ビジョン

1

横浜市民377万人の健康寿命の延伸

2

多様性尊重社会の実現

包括連携協定の連携項目

1 横浜市民377万人の健康寿命の延伸

いくつになっても、

できるだけ自立した生活を送ることができる社会を目指す

- ① 市民の健康づくり・疾病予防の推進
- ② 高齢者の介護予防の推進と
認知症に対する理解促進

具体的な取組 ～1_横浜市民377万人の健康寿命の延伸～

① 市民の健康づくり・疾病予防の推進

- ▶ 生活習慣病、乳がんなどの疾病予防に関するイベント・セミナーの開催
- ▶ 「横浜健康経営認証」制度の普及活動、健康経営を中心とした
市内企業向けセミナーの開催

② 高齢者の介護予防の推進と認知症に対する理解促進

- ▶ 介護予防の普及啓発等の推進
- ▶ 認知症に関する正しい理解を営業職員等に広めるため、
認知症サポーター養成講座受講を推進

➡ 「人生100年時代」を一人ひとりが「安心して・自分らしく」
より豊かな生活が送れるよう、健康づくりや介護予防等の取組を推進

多様性尊重社会の実現

性別・年齢・障害の有無等に関わらず、

多様な選択を実現できる社会を目指す

- ③ こども・青少年の健全育成、教育の推進
- ④ スポーツを通じた健康増進と共生社会の実現
- ⑤ 男女共同参画社会の実現

具体的な取組 ～2_多様性尊重社会の実現～

③ こども・青少年の健全育成、教育の推進

- ▶ ライフデザイン教育(出前授業・受入授業)の実施
- ▶ 横浜市立大学「市大エクステンション講座」での各種セミナー企画

中学生向け講座の実施(令和5年3月19日)

『集え！未来のデータサイエンティスト
～身近なデータに学ぶ統計学の基礎～』

(横浜市立大学×ニッセイ情報テクノロジー×横浜中央図書館)

- ▶ 樹木名プレートや木のしおりの学校への寄贈



「樹木名プレート」と
「学校の木のしおり」の寄贈

➡ **「自ら学び 社会とつながり ともに未来を創る人」の育成に向け、
社会と関連づける工夫等を通じて、関心を向上**

具体的な取組 ～2_多様性尊重社会の実現～

④ スポーツを通じた健康増進と共生社会の実現

- ▶ 「横浜市スポーツ推進計画」に沿った企画の実施
働き世代のスポーツ実施率向上に向けたきっかけ作りや運動不足の改善に繋がる機会の提供等について検討・実施
- ▶ 日本生命所属オリンピック・パラリンピック選手等による
スポーツ教室、体験会、講演会の開催



桐生選手のかげっこ教室



北間選手による講演会(車イスバスケットボール)

➡ **性別や年齢、障害の有無や国籍に関わらず、誰もがスポーツに取り組むことを目指し、スポーツへの興味・関心を向上**

具体的な取組 ~2_多様性尊重社会の実現~

⑤ 男女共同参画社会の実現

▶ 女性活躍や多様で柔軟な働き方の推進に関する普及啓発

日本生命所属(卓球部)
(早田ひな選手、笹尾明日香選手等)による
ジェンダー平等メッセージムービーの作成



早田選手



横浜市出身
笹尾選手

女性活躍・男性育休など働き方改革を
テーマとした意見交換会の実施



➡ **性別にかかわらず多様な選択を実現できる社会を目指し、
誰もが活躍できる豊かな地域・社会づくりを実施**

日本生命の会社概要



創立 明治22年(1889年)



会社名

日本生命保険相互会社

事業所

支社等 108
営業部 1,510
海外事務所 4
代理店※ 18,771

本店所在地

大阪府大阪市中央区
今橋3-5-12

※「代理店」には、銀行等の金融機関代理店等を含みます。

代表

代表取締役社長
清水 博

子会社等

保険業および保険関連事業 21社
資産運用関連事業 57社
総務関連事業等 11社

2022年4月現在

日本生命の販売チャネルについて

営業職員チャネル(リーテイル・ネットワーク部門)

支社等 108 ※

営業部 1,510 ※

ライフプラザ 99 ※

営業職員数
53,866名 ※

<参考>

・取引企業数
24.5万 ※

・被保険者数
1,077万 ※
※ 2022年4月現在

うち 横浜市を主なエリアとする支社等

横浜支社・横浜北支社
新横浜支社・湘南支社
法人市場第一部

営業部 43

営業職員数
1,329名 ※

<参考> ※支社所管分

・取引企業数
7,777 ※

・被保険者数
37.7万 ※
※ 2022年4月現在

左記以外のチャネル

・銀行窓販
(金融法人部門)

・保険販売代理店
(代理店部門)

・法人取引による職域
(ホールセール部門)

これまでの日本生命の取組

協定締結が進むまでの横浜市様とのつながり

時期	イベント	概要
2019	日本生命みんなの2020全国キャラバン(神奈川)	東京2020オリンピック・パラリンピックを日本全国で盛り上げることを目的に実施
2020	Go Find YOKOHAMA ラン&ウォークキャンペーン	キャンペーンアンバサダーに当社所属の桐生祥秀選手が就任
2021	東京2020大会関連企画展	稲見選手のゴルフバッグ(オリンピック使用現物)等の貸出に協力

協定等により、当社の地域における役割を明確化

横浜市様とのつながりの中で、
『一企業としての取組みの枠を超えた社会貢献』を
グループ全体で実現してまいります

主な具体的な取組

市民の健康づくり・疾病予防の推進

■ がん検診・特定健診受診率向上に向けた啓発活動など

横浜市の皆様へ 日本生命
がん検診のおすすめ

がんは早期発見・早期治療ができれば、生存率が高まります。

万が一がんに罹患した場合でも、進行度(ステージ)の低いがんは、健康診断やがん検診の検診機会を増やし、早期発見が可能です。5年生存率は高くなります。

がんの早期発見・早期治療のために、がん検診を受診しましょう！

日本生命は横浜市と「包括連携協定」を締結し、がん検診の受診率向上に向けた取組をすすめています



※画像はイメージです

がん検診お勧めピラ
(日本生命作成)

スポーツを通じた健康増進と共生社会の実現

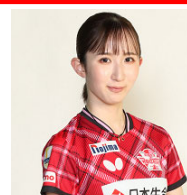
■ 日本生命所属のオリンピック・パラリンピアンなどのアスリートによるスポーツ教室・講演会等の実施

陸上



桐生 祥秀 選手
(日本生命所属)

卓球部



早田 ひな 選手
(日本生命所属)



笹尾 明日香 選手 など
(日本生命所属)

柔道



出口クリスタ 選手
(日本生命所属)

車いすバスケット



北間 優衣 選手
(日本生命職員)

野球部



WS 2022 - 760(2022.8.16)



日本生命